

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 福岡財務支局長

【提出日】 2020年2月14日

【四半期会計期間】 第48期第3四半期(自2019年10月1日至2019年12月31日)

【会社名】 イフジ産業株式会社

【英訳名】 Ifuji Sangyo Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 藤井 宗徳

【本店の所在の場所】 福岡県糟屋郡粕屋町戸原東二丁目1番29号

【電話番号】 092-938-4561(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役総務部長 原 敬

【最寄りの連絡場所】 福岡県糟屋郡粕屋町戸原東二丁目1番29号

【電話番号】 092-938-4561(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役総務部長 原 敬

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)
証券会員制法人福岡証券取引所
(福岡市中央区天神二丁目14番2号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第47期 第3四半期 連結累計期間	第48期 第3四半期 連結累計期間	第47期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年12月31日	自 2019年4月1日 至 2019年12月31日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	10,692,557	10,856,848	13,711,916
経常利益 (千円)	640,555	796,609	828,939
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	435,835	519,564	552,128
四半期包括利益又は 包括利益 (千円)	424,142	518,764	541,843
純資産額 (千円)	5,585,015	5,948,390	5,702,717
総資産額 (千円)	10,960,371	11,069,199	10,710,815
1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	52.32	63.55	66.28
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)	51.0	53.7	53.2

回次	第47期 第3四半期 連結会計期間	第48期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2018年10月1日 至 2018年12月31日	自 2019年10月1日 至 2019年12月31日
1株当たり四半期 純利益 (円)	22.45	25.71

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な貿易摩擦への懸念や消費税率の引き上げ等に伴う消費者の節約志向の高まり、また日本国内の人口減少等も加わり、依然として不透明な状況が続きました。

食品業界におきましては、原材料価格の上昇や人件費の高騰等による商品の値上げや内容量の減量等により、消費者の生活防衛意識が強まってきております。

このような状況の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比1.5%増の10,856百万円となりました。これは主に、鶏卵関連事業における販売数量が同4.4%増と好調に推移し、第3四半期連結累計期間における過去最高となったことによるものです。

損益につきましては、鶏卵関連事業において販売数量が増加したことや高付加価値商品の販売増、また製造コスト削減等により、営業利益は同24.9%増の778百万円、経常利益は同24.4%増の796百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同19.2%増の519百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりです。

鶏卵関連事業

当セグメントにおきましては、主要な商品である液卵製品の販売単価および原料の仕入単価が鶏卵相場に連動して変動するものが多く、鶏卵相場が高く推移した場合は製品の販売単価および原料の仕入単価ともに高く推移し、低く推移した場合は製品の販売単価および原料の仕入単価ともに低く推移する傾向にあるため、製品の販売単価と原料の仕入単価の差益を一定額以上確保するとともに販売数量を伸ばす努力をしております。

当セグメントにおける業績の重要な指標である販売数量は前年同期比4.4%増となり、第3四半期連結累計期間における過去最高の販売数量となりました。売上高につきましては、販売数量が増加したこと等により、液卵売上高は前年同期比1.6%増の9,230百万円となりました。また、加工品売上高はゆで卵や仕入販売の増加等により同7.3%増の413百万円、その他売上高は同23.2%増の366百万円となりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の合計の売上高は、同2.5%増の10,011百万円となりました。

セグメント利益につきましては、販売数量の増加や高付加価値商品の販売増、また製造コスト削減等により、同31.6%増の756百万円となりました。

調味料関連事業

当セグメントの売上高につきましては、既存商品の販売減少やスナック菓子向け商品の採用が少なかったこと等により、前年同期比7.7%減の865百万円となりました。

セグメント利益につきましては、主に売上高の減少により、同70.7%減の10百万円となりました。

その他

当セグメントは太陽光発電事業であり、売上高は前年同期比7.7%減の19百万円となり、セグメント利益は同5.2%減の11百万円となりました。

当社グループの財政状態の分析につきましては次のとおりであります。

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は11,069百万円となり、前連結会計年度末に比べ358百万円増加しました。

流動資産は6,026百万円となり、前連結会計年度末に比べ442百万円増加しました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加652百万円、現金及び預金の減少99百万円、商品及び製品の減少152百万円等によるものです。

固定資産は5,042百万円となり、前連結会計年度末に比べ83百万円減少しました。主な要因は、建物及び構築物の減少77百万円等によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は5,120百万円となり、前連結会計年度末に比べ112百万円増加しました。

流動負債は2,945百万円となり、前連結会計年度末に比べ387百万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加287百万円、短期借入金の増加100百万円等によるものです。

固定負債は2,175百万円となり、前連結会計年度末に比べ274百万円減少しました。主な要因は、長期借入金の減少259百万円等によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は5,948百万円となり、前連結会計年度末に比べ245百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益519百万円の計上及び配当金の支払い148百万円による利益剰余金の増加371百万円、自己株式の取得124百万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の53.2%から53.7%となりました。

(2) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの経営方針・経営戦略等について、重要な変更はありません。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題について、重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は104百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	16,792,000
計	16,792,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (2020年2月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	8,345,370	8,345,370	東京証券取引所 (市場第一部) 福岡証券取引所	単元株式数 100株
計	8,345,370	8,345,370		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年10月1日～ 2019年12月31日		8,345,370		455,850		366,322

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2019年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 203,900		
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,076,000	80,760	
単元未満株式	普通株式 65,470		
発行済株式総数	8,345,370		
総株主の議決権		80,760	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式22株が含まれております。

【自己株式等】

2019年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) イフジ産業株式会社	福岡県糟屋郡粕屋町 戸原東二丁目1番29号	203,900		203,900	2.44
計		203,900		203,900	2.44

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2019年10月1日から2019年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,303,522	2,203,748
受取手形及び売掛金	2,185,569	2,838,501
商品及び製品	816,022	663,998
仕掛品	47,701	37,585
原材料及び貯蔵品	213,364	254,752
その他	21,645	31,543
貸倒引当金	3,600	3,700
流動資産合計	5,584,225	6,026,428
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,948,762	1,871,692
機械装置及び運搬具(純額)	1,010,586	991,867
土地	1,915,929	1,915,929
その他(純額)	89,677	88,154
有形固定資産合計	4,964,956	4,867,643
無形固定資産		
	7,768	5,139
投資その他の資産		
投資有価証券	134,408	157,687
その他	20,657	13,598
貸倒引当金	1,200	1,299
投資その他の資産合計	153,865	169,987
固定資産合計	5,126,590	5,042,770
資産合計	10,710,815	11,069,199
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	745,216	1,033,031
短期借入金	938,188	1,038,188
未払法人税等	177,673	129,407
未払消費税等	45,392	48,098
賞与引当金	70,638	37,283
役員賞与引当金		31,950
その他	580,983	627,430
流動負債合計	2,558,092	2,945,389
固定負債		
長期借入金	1,798,320	1,538,554
長期未払金	567,235	562,735
繰延税金負債	58,377	48,036
その他	26,072	26,092
固定負債合計	2,450,005	2,175,419
負債合計	5,008,098	5,120,808
純資産の部		
株主資本		
資本金	455,850	455,850
資本剰余金	366,338	366,338
利益剰余金	4,829,919	5,201,244
自己株式	7,002	131,854
株主資本合計	5,645,105	5,891,579
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	57,611	56,811
その他の包括利益累計額合計	57,611	56,811
純資産合計	5,702,717	5,948,390
負債純資産合計	10,710,815	11,069,199

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	10,692,557	10,856,848
売上原価	8,685,252	8,617,902
売上総利益	2,007,305	2,238,946
販売費及び一般管理費	1,383,874	1,460,002
営業利益	623,430	778,944
営業外収益		
受取利息	52	54
受取配当金	1,517	1,846
受取賃貸料	18,148	18,165
その他	7,074	6,128
営業外収益合計	26,792	26,195
営業外費用		
支払利息	9,667	8,229
その他		301
営業外費用合計	9,667	8,530
経常利益	640,555	796,609
特別利益		
補助金収入	500	500
受取保険金	12,713	15,005
特別利益合計	13,213	15,505
特別損失		
固定資産除売却損	0	14,161
災害による損失	9,901	23,191
特別損失合計	9,901	37,353
税金等調整前四半期純利益	643,868	774,761
法人税、住民税及び事業税	211,237	265,185
法人税等調整額	3,204	9,989
法人税等合計	208,032	255,196
四半期純利益	435,835	519,564
非支配株主に帰属する四半期純利益		
親会社株主に帰属する四半期純利益	435,835	519,564

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	435,835	519,564
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,693	799
その他の包括利益合計	11,693	799
四半期包括利益	424,142	518,764
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	424,142	518,764
非支配株主に係る四半期包括利益		

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
受取手形	65,000千円	59,694千円
支払手形	17,927千円	17,458千円

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
減価償却費	306,984千円	288,937千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月27日 定時株主総会	普通株式	66,637	8	2018年3月31日	2018年6月28日	利益剰余金
2018年11月6日 取締役会	普通株式	66,637	8	2018年9月30日	2018年12月10日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
 後となるもの
 該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月26日 定時株主総会	普通株式	74,966	9	2019年3月31日	2019年6月27日	利益剰余金
2019年11月6日 取締役会	普通株式	73,273	9	2019年9月30日	2019年12月10日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
 後となるもの
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,770,880	900,199	10,671,079	21,477	10,692,557
セグメント間の内部売上高 又は振替高		37,466	37,466		37,466
計	9,770,880	937,666	10,708,546	21,477	10,730,024
セグメント利益	575,228	36,219	611,448	11,982	623,430

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	611,448
「その他」の区分の利益	11,982
四半期連結損益計算書の営業利益	623,430

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,011,551	825,481	10,837,032	19,816	10,856,848
セグメント間の内部売上高 又は振替高		40,004	40,004		40,004
計	10,011,551	865,485	10,877,036	19,816	10,896,852
セグメント利益	756,972	10,608	767,580	11,363	778,944

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	767,580
「その他」の区分の利益	11,363
四半期連結損益計算書の営業利益	778,944

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
1株当たり四半期純利益	52円32銭	63円55銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	435,835	519,564
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	435,835	519,564
普通株式の期中平均株式数(株)	8,329,666	8,175,656

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第48期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）中間配当について、2019年11月6日開催の取締役会において、2019年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

中間配当金の総額	73,273千円
1株当たりの金額	9円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2019年12月10日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年2月14日

イフジ産業株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	寺	田	篤	芳	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	吉	田	秀	敏	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているイフジ産業株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2019年10月1日から2019年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、イフジ産業株式会社及び連結子会社の2019年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。